

委員からのご意見への対応について

熊野川下流地域の概況

項目等	ご意見・ご助言	事務局の見解・対応
○地域交通の状況	○P5新宮市への優着トリップが示されているが、反対に新宮市からの紀宝町や旧鶺殿村にどれだけ移動しているか。 (伊藤委員)	○新宮市では8割以上が自市内に通勤しており、紀宝町、旧鶺殿村への通勤はそれぞれ紀宝町1.4%(220人)、鶺殿村1.6%(257人)(H17国勢調査)、となっています。なお、新宮市から紀宝町、旧鶺殿村への通学はありません。 ○別添資料(資料3)に追記しました。
○上位計画等への掲載	○地域の都市計画マスタープランや総合計画に広域的な道路網が位置づけられているのか。 (伊藤委員)	○両市町ともに都市計画マスタープランは無いが、総合計画において、道路整備の推進について記載されています。 ○別添資料(資料3)に追記しました。 (新宮市) ・総合計画には、元気が出るまち・防災力を高める・観光交流促進等の項目で道路の整備の推進について掲載されています。 (紀宝町) ・総合計画には、まちづくりの基本目標において、「広域的な道路・交通網並びに町内の交流を促す道路・交通網をバランスよく整備する」と記載されています。
○その他	○(P4)新宮市～南和歌山医療センターへの移動時間は国道311号を利用すれば、もう少し短時間で移動可能。 (伊藤委員)	○国道168号～国道311号経由での新宮市～南和歌山医療センターへの移動時間は約110分です。 ○別添資料(資料3)に追記しました。

アンケート調査の目的・進め方

項目・観点等	ご意見・ご助言	事務局の見解・対応
○調査対象地域	<p>○渋滞の原因としては通過交通も影響が強いと思うので、もし可能であればもう少し対象地域を広げて近隣の市町村にも協力頂いた方がより詳細なデータが出るのではないかと。</p> <p style="text-align: right;">(中平委員)</p> <p>○地域住民の方にアンケートをすると、広域的な観点の意見が出にくいのではないかと。</p> <p style="text-align: right;">(松本委員 (欠席))</p>	<p>○今回は地元住民を対象として整理しています。</p> <p>○設問で、観光、物流、高速道路などのキーワードを入れることにより、広域的な観点での意見を聞ける様に工夫しています。</p> <p>○また、企業にも聞くことにより、広域的な観点での意見を聞けると考えています。</p> <p>○ルート概要等の取りまとめに当たっては、両県の今までの調査結果に、今回のアンケート調査結果を加えることで、広域的な観点と日常生活的な観点をあわせて検討することとします。</p>
○世帯当たり配布枚数	<p>○各世帯に1部というのは偏りがでることが危惧される。1世帯当たり配布枚数を2～3枚にしてはどうか。</p> <p style="text-align: right;">(伊藤委員)</p>	<p>○今回は、世帯みんなで考えて貰うという主旨で各世帯1枚を配布し、アンケート調査を行います。</p> <p>○但し、利用状況については、世帯の各個人の情報を項目2で聞きます。</p> <p>(事例:近畿地方整備局管内の事例H15からH19の全7件の内、3事例が無作為抽出で個人配布であった他は、4事例が各世帯に一通の配布であった。)</p>
○回収率向上	<p>○回収率を上げる方策を講じることが望ましい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会組織への呼び掛け。 ・各種団体への行政からの呼び掛け。 ・用紙の切り離しなど、回答者が面倒に感じないような工夫。 <p style="text-align: right;">(松尾委員 (欠席))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元密着型のケーブルテレビを利用できれば良い。 <p style="text-align: right;">(千種委員)</p>	<p>○広報活動に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市、町の広報紙への掲載を行う。 ・地元紙への情報提供。 ・HPへの掲載。等 <p>(ケーブルテレビに行政チャンネルが無い。)</p> <p>○容易に切り離せる様、工夫します。</p>

アンケート調査票

項目・観点等	ご意見・ご助言	事務局の見解・対応
○表紙	○渋滞している嫌なイメージの写真を、回答してみようかなと思わせるように修正。 ・この橋の重要性や景観的な観点からも良いということを知ってもらえるような写真を入れてはどうか。 (千種委員)	○修正。 ・一番大きい写真を熊野川下流地域の空中写真に差し替え。
○全般	○表現が専門的であるので、分かり易い表現にする。 ・現道、走行性の高い、費用便益分析 (伊藤委員・千種委員・中平委員)	○修正 ・現道→現在の道路 ・走行性の高い→高速で快適に走れる ・費用便益分析→費用対効果を検証
	○表現方法が違うところは統一する。 ・項目4だけ問いかけになっている。 ・一つずつ、一つ等 (伊藤委員・千種委員)	○修正
	○記入漏れが無い様な工夫が必要。 ・「必ず1つ選んで下さい」と強調するなど。 (中平委員)	○修正 ・下線、太字で強調。
○項目1	○企業に配布するときは項目1の内容がおかしい。 (伊藤委員・濱田委員長)	○企業用として別途作成して配布。
	○世帯全員について回答していただきたい旨を書いておくのが良い。 ・世帯について書くのか自分について書くのか迷う。 (千種委員・濱田委員長)	○修正 ・目的、手段、頻度は家族全員の分を記載して頂く。
	○郵便番号を書いてもらうようにすれば、大字まで一発で分かる。 (伊藤委員)	○加筆 ・大字もしくは郵便番号を記載。
○項目4	○必要と思う方へ→必要とする場合について (濱田委員長)	○修正
○項目5	○概ねのルート候補が書かれているが、これだと通過という道路の意味合いでしかないため、市内に入る道路との接続道路の1～2本についても考えているということに記載しておく方が良くはないか。 回答する人が通過するだけのものになってしまう心配があるので。 (筒井委員)	○接続する道路については、IC配置などと併せて今後検討する事項として整理しています。項目3の配慮すべき事項で、連絡する道路についての意見を聞く様に加筆し、アンケート結果を今後の検討に活用することとします。

委員長打ち合わせ時のご意見への対応について

項目等	ご意見・ご助言	事務局の見解・対応
○配布先にいて	○商工会議所に加入していない各種団体、官公庁などの意見も聞いてはどうか。	○病院、漁協、農協、郵便局などに、調査票を配布しました。